花山かずみ・作

おみずでおえかき新聞

ちいさなかがくのとも2025年4月号『おみずでおえかき』福音館書店

◊取材日記 その1◊

2022年からプロジェクトスタート！7月のムシ暑い、くもりの日 東京都練馬区の石神井公園（ダブルH）で取材開始。平日の昼間で子どもの姿なし、ほぼひとけのない公園で"大人2名"黙々とひたすら水をまく。ちょっと耳心がしくちょっとシュールな光景。でも、まいているうちにだんだん楽しくなる。水の流れ方や地面の材質による染み込み方の違いに興奮する。普段気がつかない小さな花（名前は？）アリや蝶などいろいろ気づく。うれしい。1往復道すがらお互い趣味暁遊とわかりいろいろ意気投合（？）

冬でも半そで短パンくつ下はハかない派のともくん

「のりちゃんがお水で遊んでて面白そうだったからさ、いっしょにやってみたの。やっぱり面白かったよ」

◊面白そうは伝わっていく◊

のりちゃんのひとしずくの発見がともくんに伝わり れんちゃんに、ないくんにと次々に伝わります。

子ども同士のコミュニケーションは大人とちょっと違って身体全体にアンテナをはりめぐらせてお互いにキャッチボールをしている。大人が左脳だとしたら子どもは右脳を使う割合がタイ気がします。たとえば面白そうなコトをひとりがはじめるとシワシワと夢中が伝わっていきまるで磁石みたいに子どもたちが集まってきて、そのうちに強制ではない自然発生的な連帯感が生まれたり。そんな時の子どもたちってとってもエネルギッシュでいい顔してるなーと思います。

しっかりもの3人姉弟の長女のりちゃん

「お水がぽたっと落ちると地面の色がかわるのをいちばんはじめに発見したのはアタシなの！アタシ！」

ジュースやさんごっこをしてたの！

◊はじめのひとしずくからはじまるということ◊

たま事！

このお話はのりちゃんが自分の指先の水滴が落ちたときに地面の色がかわるのに気づくところからはじまります。

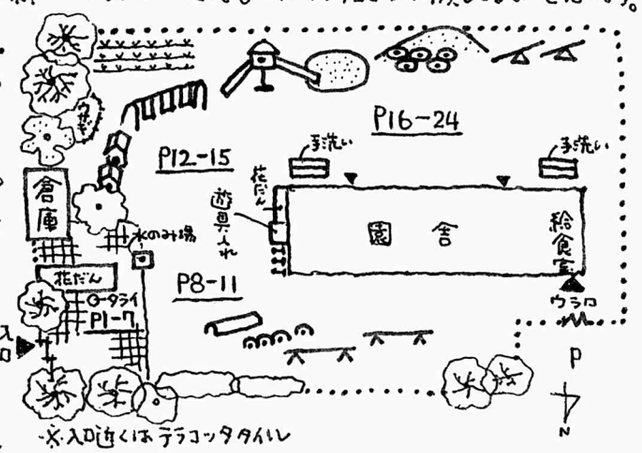
「水で地面に絵が描ける」と言葉にするととても簡単で大人にとってはどうということのない、あたり前のことです。でも子どもにとっては飲む、手を洗う、お風呂などなど、とっても身近な（なくては生きていけない）水のちがった一面に自分で気づいたとき、まわりの風景がガラッとちがって見えるような、そんな大発見の瞬間だと思うのです。

大人にとっても気づくことって ちょっとお得な気分になれます。最近、私が気づいたことは、豆苗は2度目の収穫までは美味！

◊お話の舞台になった園のプランも考えます◊

お話の中に全体は出てこないけれどページをめくったときに??となならないように場面同士に矛盾がないように園のプラン（配置図）を描きます。元々建物大好きなのでついつい暴走して図面を描くのが楽しくなってしまいます。

子どもたちがどこから登園してきてどこで遊ぶか遊具の設置はどうしたら楽しいか、畑もつくって子どもたち自身で育てた野菜を料理して給食で食べられたらうれしいだろうなー美味しいだろうなーなどなど…ぜんぜん登場しない部分まで考えながらニヤニヤしつつ描いてしまいます。



ウラにつづく

◊取材日記 その2◊

実際に子どもたちが水で遊んでいる現場を見学することになり、東京都北区の丁保育園に取材へ行きました。当日はあいにくの雨。肌寒いお天気の中、年少さんが協力してくれました。ありがとうございました。園庭の屋根のある場所、玄関内もお水OKとの許すを頂き（園長先生ありがとうございました！）はじまりはじまり…

すると…子ども達は楽しそうにぬれていないところをぬらすという遊びにひたすら熱中していたのでした。

◊取材のあと 原画のとき◊

取材したコトを参考にしつつアーダコーダアーダコーダとうつの修整をくりかえしていると すこーしずつ完成形が見えてくる気がします。いえっ見えてきます。

今回原画を描くときに気をつけたのは水で描くときにできる軌跡です。手から落ちる◊やジョーロからの〰やホースからの〰〰など みんな軌跡が違います。写真で動画で実際に何度もやってみて…描きました。

◊編集者Hさんからのひとこと◊

取材写真を見かえしてみると、子どもたちも、先生たちも花山さんも、みーんな笑顔でした。

よい絵本になることを強く確信しています。

◊取材日記 その3◊

前回が雨だったので☀の日に再度訪問。今回は年中さんに協力してもらいました。ありがとうございました！

いろいろな容器を用意して↑水を入れるところからはじまります。水道からホースで水を出して入れるバケツの中から水をすくう、おとなに「入れて～」と頼むなどなど子どもたちは様々です。

子どもたちの想像力はとても豊かで次から次に新しいアイデアが出てきて、それがまた発展していくのです。

◊本を描いたHからひとこと◊

この絵本をよんだ子どもたちがどんどん人数がふえていって絵もどんどん大きくなる、なってくれて自分たちもやってみようと思ってくれたらうれしいです！

『おみずでおえかき』に登場したみんなに感想を聞きました！